2014年3月21日（金曜日）の日刊工業新聞に「日本で一番大切にしたい会社」大賞が紹介されました。

「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞

喜びの声

地域・社会貢献目指す

第4回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞の贈賞式が20日開かれた。各社のトップは喜びとともに、さらによい会社を目指す意気込みを語った。

（1面参照）

◇

【中小企業庁長官賞】

沢根スプリング・沢根孝佳社長　名誉ある賞を受賞し大変光栄に思います。小さな町工場でありたい姿とは大きなギャップがありますが、会社を永続させる、人生を大切にするなどの経営理念のもと、これからも社員さんとともに「ゆとりと幸せ実現経営」を目指してまいります。

（浜松市南区）

【実行委員長賞】

LFC・井上武社長　会社設立10年目の記念の年に受賞できたことを大変光栄に思います。大家族主義を基に「社員が幸せになる会社」を目指してきましたが、今後は、さらに地域貢献・社会貢献ができる会社を目指して、一層の精進を重ねてゆきたいと思います。

（岐阜県本巣市）

受賞者ほか関係者

【審査委員会特別賞】

パン・アキモト・秋元義彦社長　今般の受賞は思いもよらず、感謝と気恥ずかしさの交錯です。しかし、父であり創業社長が目指した「社会に存在が認められる企業」に近づいたとの評価に誇らしさを感じます。早朝から頑張る製造部、夜遅くまで努力の営業部など全ての従業員の受賞です。

（栃木県那須塩原市）

千葉オイレッシュ・野村進一社長　役に立つ、信頼される、バランス良く発展する会社を合言葉に、これからも社員とともに確実に成長できる年輪経営を目指します。そして廃棄物のリサイクルを通じて〝地域社会からあって良かった〟と言われるような会社にしていきたい。（千葉県君津市）

ルバンシュ・千田和弘社長　審査委員会特別賞を拝受できましたことを、社員一同、大変喜んでいます。審査委員の先生からアドバイスを頂戴できただけでも、この賞に応募した価値がありました。本当にお礼の言葉しかありません。ありがとうございました。

（石川県能美市）

須山木材・須山政樹社長　「未来に森をつなごう」との思いで、木を育て間伐し、使っていくという循環型林業を目指していく中で、この度受賞できたことを大変光栄に感じております。「お客様のために　お客様と共に」をモットーに地域資源を生かした企業活動と社会貢献を続けてまいります。（島根県出雲市）

宇佐ランタン・谷川忠洋社長　このたびの受賞ありがとうございます。地方の片隅で知的障がい者を受け入れた伝統産業の提灯（ちょうちん）作りの始まりは1981年でした。以来33年間試行錯誤を重ね、障害者の潜在能力をいかに引出せるかが最大の課題でした。本日を迎えられてうれしく思います。

（大分県宇佐市）